



八幡幼稚園 あっぷる つしん

令和3年7月1日

近江八幡市立八幡幼稚園

教育目標 **笑顔あふれる八幡幼稚園**
元気な子 感じ考えがんばる子 なかよくする子



日ごとに暑さが増し、額に汗を光らせながらも元気に遊ぶ子どもたちです。子どもたちは、日々遊びを通して様々なことを学んでいます。例えば砂遊びでは・・・



水つめたい!

3歳児は、手や足だけでなく全身で水や砂などの感触を味わい、楽しんでいます。シャベルや型抜きなどの道具を使う子もいれば、素手で砂を掘っていく子もいます。サンダルを履いて砂場に入るとサンダルと足の隙間に砂が入ってざらざら・・・裸足になって砂の上を歩いたり、泥水の中に入ったりしています。全身で砂だけの感触や水と混ざった時の感触を感じ、砂の性質に興味をもって繰り返し遊んでいます。このように様々なものと出会って興味や関心を広げていっています。

サンダル脱いで
入っちゃおう!



やってみよう! やってみよう!!
様々なものと出会い、世界を広げていく

4歳児になると、もちろん感触も楽しんでいます。友だちと一緒に「ここは川やなあ。」「大きい川や。」と友だちとイメージをもって楽しんでいる姿が見られます。またこれまでの経験を生かして、「八幡山や。」「八幡山にはロープウェイがあるよ。つくる?」と友だちを誘って一緒に作って楽しんでいる姿も見られます。このようにイメージや目的を共有して遊びながら、互いに工夫したり協力したりするようになっていきます。



一緒にしよう!
工夫したり、協力したりする力へ



なぜ? ふしぎだな
興味をもったり、気づいたり、
考えたりする力へ

なんで水が
戻ってくるの??

5歳児は、友だちと相談して砂山をつかって、といを挿して水を流していました。初めは、といを水平に挿して水を流そうとしましたが水が流れず、「なんで?! 流れない!」そして試行錯誤をして水を流せるようになっていきました。次は、水が流れ出る方から水を流そうとしますが、水が戻ってきます。「あれ?」大人なら当たり前と思うことも、子どもたちは実際に体験して、不思議に思い、考えていきます。この「なぜ?」「不思議だなあ。」からスタートして、考えたり工夫したりしていくプロセスの中に、学びがあります。

幼稚園では、幼児期に培われるこのような「学びの芽生え」が小学校の学びにつながっていくよう、子どもたちの遊びを大事にしています。